

(法第 28 条第 1 項関係様式)

2012 年度事業報告書

特定非営利活動法人こむの事業所

1 事業の成果

2012 年度は、就労継続支援事業開始 2 年目の基礎固めが求められた事業年度であり、職員が一丸となって業務にまい進した結果、事業収支に改善が見られ、借入金の返済についても見通しがつく状況になっている。特にレストランの経営及びこむの市場事業については、営業努力により大幅な売り上げ増を達成でき、事業全体の安定的持続につながる成果をあげることができた。

一方、障害のある職員の雇用及び職域の開発については、年度末時点では昨年度末同数の 16 人が在籍するに留まり、従事する業務の開発面においても進展がなかったことから、2013 年度に向けてパソコン修理事業を試行的に実施し、事業化を図った。

その他課題であった午前中に勤務が終了する障害のある職員のための文化活動プログラムについては、漢字・家計簿教室、ストレッチ、エクササイズなど仕事の能力アップにつながるプログラムのほかフラダンス教室、映画鑑賞などの余暇活動など充実に努めた。

障害者をはじめ仕事を得にくい人々の仕事づくりを目指す法人の目的に則して、発展を期するために以下の事業に取り組み、今後の事業展開の基礎固めとなった。

(1) ビル管理事業

① 宝塚市立老人福祉センター・大型児童センター清掃の受託

事業開始年度の課題であった業務の品質改善については、日々の工夫改善の努力が実り、課題はあるが委託者からの一定の信頼を得るに至っている。

また、障害のある職員の業務については、引き続きチーム方式を採るとともにリーダーによる作業能力を高めるための取り組みを強化した。

清掃部門では、引きこもり、不登校など社会とのつながりに困難をかかえる青年の実習を受け入れ、採用を行ったことにより、法人の使命を推し進める一歩となった。

これらの基礎づくりを踏まえて業務の拡大を目指し、障害のある職員の従事者を増やすなど準備を進めたが、宝塚市立総合福祉センターの受注につながらず、2013 年度から施行される優先発注制度の実効に課題を残す結果となった。

② マンション清掃受託他

前年度に引き続き民間マンション1件の清掃を受託するとともに、こむの事業所のガラス窓清掃などにも取り組み、清掃技能の向上を図った。

③ 駐車場管理

駐車場管理業務については、おおむね安定した状態にあり、利用する車両も微増の傾向にある。

業務の特性からチームワークによる改善、モラルの向上などが得にくいことから、従事する職員については、他の業務へのシフトや兼務などの取り組みを進めている。

④ 新たな取り組み

データベース事業を目指して、技術者の支援を得ながらシステム開発能力を有すると考えられる職員により、こむの事業所の人事データベース・出退勤管理システムの開発を行った。

また新たなビジネスとしてパソコン修理事業を目指して、技術を有する人材を得て試行的に取り組み、一定の効果が得られたことから事業化を図ることとした。

(2) 食事サービス事業

① 宝塚育成事業所給食受託

2012年度から安倉南身体障害者支援センターの給食受託を廃止し、新たに宝塚育成事業所の受託を開始した。

調理員2名の態勢が整ったことから、障害のある職員を配置し、年度末には障害のある職員と調理員1名の2名態勢で業務ができており、今後の職域開発の基礎を築くことにつながった。

② 知的障害者通所施設めふプラザ給食受託、こむの事業所給食

2011年度に引き続きめふプラザの給食を受託するとともに、こむの事業所職員の給食を食事サービス事業の基本事業として実施したことにより、調理業務に従事する人材の確保、訓練につながり、レストラン、配食サービスなど事業展開のための基礎を築くことができた。

③ レストラン「こむず」の営業

2011年度はレストラン利用客数が少なく、客数増が最重要課題であったことから、6月から洋食ランチをはじめメニューの充実及びちらしの作成配布など営業活動に取り組んだ結果9月から客数の大幅な増加が得られた。

しかし、客数の増はサービスの低下のリスクも負うことでもあり、キャンペーン等で一挙に客数の増を狙うのではなく、少しずつリピーターを増やす営業方針で臨み、現在ほぼ均衡状態にあると判断している。

障害のある職員についてはホールサービス業務では2名の配置で運営しているが、厨房の業務については適応できない職員もあるため、ジョブコーチを確保するとともにチーム制の導入を図るなど職域の開発に取り組むこととしている。

④ おせち事業受託

昨年に引き続き宝塚市社会福祉協議会、歳末たすけあい事業としておせちの調製を受託し、尼崎三和市場と共同で実施した。併せて配布した門松の制作には5名の障害のある職員が従事した。

(3) こむの市場事業

① 生鮮野菜・米の販売

2012年度については仕入れ先の拡大、販売の促進に重点的に取り組んだことにより売上げの大幅な増加につながり、障害のある職員1名の職場となっている。

年度末には、国庫補助金を得て玄米貯蔵庫、野菜展示販売冷蔵庫、展示棚、移動販売車を購入整備したことにより、こむの市場の設備がほぼ整った。

② その他の取り組み

駐車場管理従事職員のまちの時間の有効活用のためにえびす熊手の組み立てを請け負った。

(4) その他

① 住居利用

家庭内暴力等のシェルターとして、3世帯延べ日数110日の利用があり、その他想定外の利用として、福島県の原子力発電所事故から避難している川俣町の子どもへの心のケアのために2家族が述べ10日間の利用を行った。

今後利用を促進するために、利用ルールのチラシ等を作成しPRする必要がある。

② アトリエ利用

現在アトリエについては、めふプラザのガラス工芸について、受注があったときのみこむの事業所の職員も参加しながら製作に利用している。

今後利用ルールを明確にし、工芸作品の商品化に幅広く利用参加が得られるように取り組む必要がある。

2 事業実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業	ビル管理事業	通年	宝塚市立老人福祉センター・大型児童センター、こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-8、9 ヌーベン・ヴァーグ 宝塚市湯本町 9-10 福祉コミュニティプラザ駐車場 宝塚市売布東の町 9 番地内	18 人	障害者 10 人 就労要支援 2 人	11,988
障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業	食事サービス事業	通年	宝塚育成事業所内厨房 宝塚市安倉西 4-1-7 こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	12 人	障害者 4 人 就労要支援 1 人	20,144
障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業	こむの市場事業	通年	こむの事業所 宝塚市売布東の町 12-9	2 人	障害者 1 人	4,331